

### 3. 西昭和2遺跡の性格について

#### (1) はじめに

西昭和2遺跡の発掘調査において、土器片267点・石器等15,918点の遺物と、石槍集中1か所と剝片・碎片集中5か所の遺構が確認された。土器は、すべて北筒II式に相当するものである。石器は、石鏃、石槍、ナイフ、スクレイパー、石斧、たたき石等があり、石槍の出土割合が大きい。ここでは、石槍集中1か所と剝片・碎片集中5か所の検出状況や石器の形態的な特徴を指摘し、共栄2遺跡、上清水4遺跡、北明1遺跡などと比較しながら、本遺跡の性格について検討を加えたい。

#### (2) 石槍集中

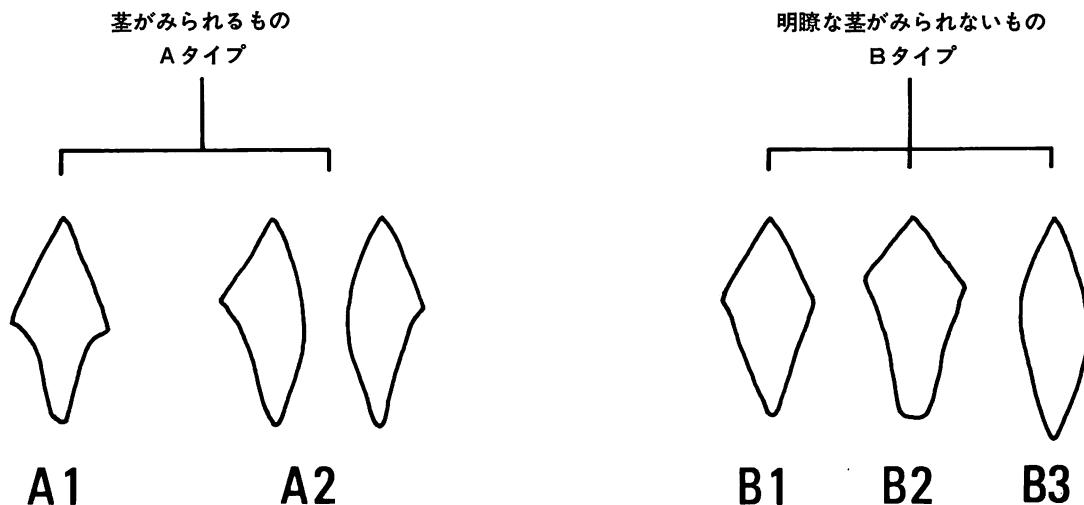
a) 出土状況 M-16-d区の包含層調査時に、径20cmほどの範囲から、黒曜石製の石槍74点がまとまって出土した(図V-6)。また、この石槍のまとまりが確認される前に、集中地点の上位にあたるI層下部の径50cmほどの範囲から、散在的に石槍33点が出土している。この33点の石槍は、出土層位と分布の様子からみて、先の石槍集中の一部が耕作により拡散したものと判断される。したがって、石槍集中からの出土点数は、合計で107点とした。これらの石槍は、肉眼観察のかぎりでは、刃部のつぶれや欠損等顕著な使用痕が見られなかった。

さらに、器種別遺物分布図(図V-14~16)にみるように、周辺から30点ほどの石槍が出土しており、これらが石槍集中の一部をなしていた可能性が高いが、調査区全域からほぼ同じ形態の石器がみられることから、石槍集中に含まれるかどうかの判断は困難である。

b) 形態の比較 検出された石槍は形態から、次のA・Bふたつのタイプに分けることができる。Aタイプは、茎がみられるもので、さらに2タイプに細分される。Bタイプは、明瞭な茎がみられないもので、さらに3タイプに細分される。(図IX-3-1)

Aタイプ：茎がみられるもの

Aタイプは、石器の両側縁に翼状のかえしがみられるもの(A1)と、どちらか一方の側縁にかえしがみられるもの(A2)の、2つのタイプに分けられる。いずれも、最大幅がほぼ石器中央部に位置する。



図IX-3-1 石槍形態別分類模式図

### Bタイプ：茎が明瞭にみられないもの

Bタイプは、菱形(B 1)、五角形あるいは縦長の菱形(B 2)、柳葉形(B 3)を呈する3タイプにわけられる。B 1・B 3タイプは最大幅が石器のほぼ中央部に位置し、B 2タイプは最大幅が石器の中央部より上方に位置する。また、A 1タイプが使用により欠損した側縁部を再調整することによって、A 2・B 1・B 2タイプに変化していく可能性がある。

c)石器と素材礫 石槍は、形態的には5つのタイプに分けられるが、大きさの平均値をみるとかぎり、タイプ別による大きな差はみられない(表IX-3-1~6)。これは、石槍集中の周辺で確認された剥片・碎片集中内から検出された礫表皮面を残す剥片や石核からみて、一定の大きさの素材を選んで使用しているような様子が伺え、このため石槍の大きさに差がみられないものと思われる。

素材の大きさは、径7cmほどの黒曜石の円礫が使われている。上清水4遺跡で確認された、石器製作のために持ち込まれたとみられる径10cmに満たない黒曜石の円礫8点の集中や、共栄2遺跡、北明1遺跡から多数出土している礫表皮面を残す剥片や石核からも同程度の大きさの素材が普遍的に使用されていたと思われる。

また黒曜石の産地同定の結果、ほとんどが十勝三股群である。十勝三股群の黒曜石は、十勝三股を中心そこから流れ下る音更川、士幌川の川原から採取出来る。本遺跡は、音更川の東側500mほどのごく近い位置にあり、検出された黒曜石の石器、剥片、および石核等からみて、音更川の河床礫と思われる拳大の黒曜石の円礫が持ち込まれたと考えられる。共栄2遺跡、上清水4遺跡は20~22km、北明1遺跡は8kmと離れているが、同様の礫が用いられているのであろう。

石器素材としての剥片は、縦剥ぎと横剥ぎの両方がみられるが、一次剥離面がみられる石器からみて、縦剥ぎによるものが多い。

#### (3) 剥片・碎片集中

a)検出状況 調査区内から、5か所の剥片・碎片の集中が確認された(図V-10)。

規模は、最小のもので径50cm、厚さ2cm、出土遺物点数約500点、最大のもので径2m、厚さ3cm、出土遺物点数約3,000点である。平均で、径1m、厚さ3cm、出土遺物点数約2,000点である。

b)素材礫の大きさ これらの剥片・碎片集中からはごくわずかではあるが石鎌、石槍、ナイフ等の剥片石器が検出された。石材は、すべて黒曜石で、検出された礫表皮面を残す剥片から、径7cmほどの円礫が使用されている。角礫と思われる剥片は、認められなかった。また、上記のように、剥片・碎片の集中の周辺から多数の剥片石器や剥片・碎片が検出されている。このことから、この剥片・碎片の集中は石器製作の場であったと考えられる。

確認された剥片・碎片の集中は、素材と考えられる原石の種類、大きさ、また検出された剥片石器の組成にも偏りが見られないことから、一時期に石器製作作業が営まれたと考えられる。

#### (4) 遺跡の性格

石槍集中内から検出された石槍は、一時期に製作されそれが革袋のようなものに入れられ、未使用のままこの位置に置き忘れられたものと思われる。

石槍集中と剥片・碎片集中は、検出層位、石器および出土した土器から、北筒II式土器の頃と推定される。

以上のことから、本遺跡が剥片剝離ならびに石器製作の場であったと考えられる。

#### (5) おわりに

西昭和2遺跡、共栄2遺跡、上清水4遺跡、北明1遺跡は、立地条件、遺跡の規模、出土遺物点数の多少に違いがみられるものの、いずれの遺跡も剝片石器に対する石槍の出土率が非常に高く、石槍集中、剝片・碎片集中等が多く検出される。これらの遺跡は、北筒II式、北筒IV式、北筒V式土器の時期に限定される。このことから、十勝地方の北筒式土器の時期には、数多くの石槍が製作使用されていたことが特徴としてあげられる。

#### 引用・参考文献

1991年 勅北海道埋蔵文化財センター「上清水4遺跡・共栄2遺跡・共栄3遺跡」北埋調報70

1992年 勅北海道埋蔵文化財センター「上清水2遺跡・共栄3遺跡(2)・東松沢2遺跡・北明1遺跡」北埋調報76

表IX-3-1 各タイプ別点数・大きさの平均値・出現率

タイプ	点数	長さの平均値	幅の平均値	厚さの平均値	重さの平均値	出現率
A 1	11	4.3cm	2.3cm	0.6cm	4.7g	10.2%
A 2	25	4.5cm	2.1cm	0.7cm	4.9g	23.3%
B 1	10	4.1cm	2.1cm	0.6cm	4.1g	9.3%
B 2	55	3.9cm	2.1cm	0.6cm	3.5g	51.4%
B 3	6	4.8cm	1.8cm	0.7cm	4.8g	5.6%
すべての平均値	107	4.3cm	2.1cm	0.6cm	4.4g	

表IX-3-2 A 1 タイプ石槍属性表

図番号	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	図番号	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)
図V-7-1	I B 1 c	5.4	2.6	0.7	6.6	図V-8-47	I B 1 c	4.1	2.1	0.7	4.3
図V-7-23	I B 1 c	4.1	2.3	0.5	4.2	図V-8-58	I B 1 c	3.6	2.2	0.5	3.5
図V-7-24	I B 1 c	4.3	2.1	0.6	4.2	図V-9-98	I B 1 c	4.1	2.2	0.5	3.8
図V-7-34	I B 1 c	4.2	2.4	0.5	4.2	図V-9-103	I B 1 c	4.9	2.3	0.6	5.2
図V-7-36	I B 1 c	5.0	2.3	0.8	6.1	図V-9-104	I B 1 c	4.2	2.0	0.6	4.2
図V-8-44	I B 1 c	4.2	3.0	0.7	6.0						

表IX-3-3 A 2 タイプ石槍属性表

図番号	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	図番号	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)
図V-7-5	I B 1 c	3.7	2.1	0.6	3.6	図V-8-61	I B 1 c	3.8	2.0	0.7	3.5
図V-7-8	I B 1 c	4.5	2.2	0.7	6.2	図V-8-66	I B 1 c	4.5	2.4	0.7	5.0
図V-7-14	I B 1 c	4.5	2.3	0.8	5.4	図V-8-77	I B 1 c	3.8	2.0	0.8	3.8
図V-7-17	I B 1 c	4.2	2.1	0.6	3.8	図V-9-81	I B 1 c	3.8	1.9	0.5	3.0
図V-7-18	I B 1 c	5.9	2.3	0.9	8.6	図V-9-82	I B 1 c	4.3	2.0	0.6	4.6
図V-7-20	I B 1 c	3.9	1.9	0.5	2.8	図V-9-83	I B 1 c	5.0	2.1	0.7	5.4
図V-7-21	I B 1 c	6.0	2.0	0.9	7.8	図V-9-84	I B 1 c	4.2	2.2	0.6	4.8
図V-7-35	I B 1 c	4.2	2.1	0.7	4.4	図V-9-86	I B 1 c	4.8	2.3	0.7	5.6
図V-8-40	I B 1 c	5.2	2.1	0.7	5.2	図V-9-87	I B 1 c	4.3	2.1	0.7	4.6
図V-8-42	I B 1 c	4.5	2.3	0.6	4.3	図V-9-88	I B 1 c	(4.2)	2.4	0.7	(5.4)
図V-8-46	I B 1 c	4.1	2.1	0.7	4.2	図V-9-90	I B 1 c	4.3	2.0	1.9	5.0
図V-8-50	I B 1 c	4.6	2.0	0.8	4.6	図V-9-101	I B 1 c	4.9	2.3	0.7	6.0
図V-8-53	I B 1 c	5.0	2.4	0.7	5.7						

表IX-3-4 B1タイプ石槍属性表

図番号	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	図番号	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)
図V-7-9	I B 2	4.6	2.3	0.9	6.2	図V-8-67	I B 2	3.8	1.6	0.6	2.5
図V-7-10	I B 2	3.5	2.4	0.6	3.6	図V-9-85	I B 2	3.4	2.1	0.3	2.0
図V-7-11	I B 2	4.3	2.0	0.6	3.8	図V-9-93	I B 2	4.7	2.4	0.6	5.2
図V-7-25	I B 2	4.0	2.0	0.6	4.2	図V-9-100	I B 2	4.4	2.3	0.5	3.8
図V-8-54	I B 2	4.0	2.0	0.5	3.1	図V-9-105	I B 2	4.7	2.3	0.8	6.4

表IX-3-5 B2タイプ石槍属性表

図番号	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	図番号	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)
図V-7-2	I B 2	4.2	2.6	0.5	4.0	図V-8-56	I B 2	3.4	1.8	0.3	1.3
図V-7-3	I B 2	4.0	2.0	0.6	3.6	図V-8-57	I B 2	4.0	2.2	0.6	4.3
図V-7-4	I B 2	3.3	1.7	0.5	2.4	図V-8-59	I B 2	4.2	2.0	0.6	3.4
図V-7-6	I B 2	5.0	2.0	0.5	4.2	図V-8-60	I B 2	3.8	1.8	0.6	3.3
図V-7-7	I B 2	(3.9)	2.3	0.5	(3.8)	図V-8-63	I B 2	4.1	1.9	0.4	2.8
図V-7-12	I B 2	2.9	2.0	0.4	2.0	図V-8-64	I B 2	3.5	1.8	0.6	3.0
図V-7-13	I B 2	3.0	1.6	0.4	1.8	図V-8-65	I B 2	3.9	1.9	0.6	3.7
図V-7-15	I B 2	3.0	1.6	0.4	1.2	図V-8-68	I B 2	4.6	2.4	0.6	5.0
図V-7-16	I B 2	3.2	1.8	0.4	2.0	図V-8-70	I B 2	3.0	1.7	0.5	2.3
図V-7-19	I B 2	4.4	1.7	0.8	4.8	図V-8-71	I B 2	4.4	2.5	0.7	4.4
図V-7-22	I B 2	(4.6)	2.1	0.7	(4.5)	図V-8-73	I B 2	5.1	2.4	0.9	6.7
図V-7-26	I B 2	3.4	2.5	0.6	3.2	図V-8-74	I B 2	3.4	1.5	0.4	1.8
図V-7-27	I B 2	4.1	2.1	0.7	4.0	図V-8-75	I B 2	3.3	2.7	0.5	2.4
図V-7-28	I B 2	4.2	2.4	0.4	3.4	図V-8-76	I B 2	3.8	2.0	0.6	3.6
図V-7-29	I B 2	2.9	1.6	0.4	1.6	図V-8-78	I B 2	3.6	2.0	0.4	2.0
図V-7-30	I B 2	3.4	1.9	0.7	3.3	図V-9-79	I B 2	3.6	1.8	0.6	3.0
図V-7-31	I B 2	4.2	2.3	0.5	3.8	図V-9-80	I B 2	5.1	2.1	0.7	5.6
図V-7-32	I B 2	3.8	2.0	0.4	2.4	図V-9-89	I B 2	3.5	1.7	0.6	3.2
図V-7-33	I B 2	4.3	2.4	0.6	4.6	図V-9-92	I B 2	4.1	2.0	0.6	4.4
図V-7-37	I B 2	3.6	1.9	0.7	3.3	図V-9-94	I B 2	3.6	2.0	0.5	3.6
図V-7-38	I B 2	3.7	1.9	0.7	3.7	図V-9-95	I B 2	4.3	2.9	0.5	3.6
図V-8-39	I B 2	3.6	1.9	0.6	3.5	図V-9-96	I B 2	3.8	2.3	0.6	3.4
図V-8-41	I B 2	4.1	2.1	0.6	4.2	図V-9-97	I B 2	3.7	2.0	1.1	3.6
図V-8-43	I B 2	4.2	2.1	0.6	3.7	図V-9-99	I B 2	3.9	2.1	0.6	4.0
図V-8-48	I B 2	3.1	1.7	0.5	2.2	図V-9-102	I B 2	4.2	2.1	0.6	4.2
図V-8-49	I B 2	3.4	1.7	0.7	3.6	図V-9-106	I B 2	4.9	1.9	0.6	4.8
図V-8-51	I B 2	4.6	2.5	0.7	5.2	図V-9-107	I B 2	3.0	1.5	0.4	1.6
図V-8-52	I B 2	4.2	2.1	0.6	3.7						

表IX-3-6 B3タイプ石槍属性表

図番号	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	図番号	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)
図V-8-45	I B 2	4.6	1.8	0.7	4.1	図V-8-69	I B 2	4.7	1.9	0.8	5.0
図V-8-55	I B 2	5.2	1.9	0.6	4.9	図V-8-72	I B 2	4.8	1.9	0.7	5.1
図V-8-62	I B 2	4.4	1.7	0.6	3.8	図V-9-91	I B 2	5.4	1.6	0.7	5.6